

# 貸借対照表

平成15年 3月31日現在

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	15,282,903,133	15,159,713,245	123,189,888
有形固定資産	14,318,903,133	14,630,713,245	311,810,112
土地	6,025,622,252	6,008,399,252	17,223,000
建物	7,354,400,798	7,603,022,844	248,622,046
構築物	1,446,549	0	1,446,549
教育研究用機器備品	584,463,740	681,500,734	97,036,994
その他の機器備品	112,530,258	141,178,189	28,647,931
図書	238,530,684	194,067,100	44,463,584
車輛	1,908,852	2,545,126	636,274
その他の固定資産	964,000,000	529,000,000	435,000,000
減価償却引当特定資産	864,000,000	429,000,000	435,000,000
施設設備維持拡充引当特定資産	100,000,000	100,000,000	0
流動資産	1,607,097,030	1,368,285,984	238,811,046
現金・預金	1,587,470,506	1,348,198,899	239,271,607
未収入金	6,061,224	997,760	5,063,464
前払金	12,047,946	19,089,325	7,041,379
立替金	1,517,354	0	1,517,354
資産の部合計	16,890,000,163	16,527,999,229	362,000,934

## (C) 貸借対照表について】

### 資産の部(主な前年比増減要因)

学長住宅を鳥取市より寄贈されたことにより、土地(前年比+17百万円)のほか、建物 構築物等も増加しましたが、建物については校舎等の既存分の減価償却額が上回ったため前年比 249百万円となりました。教育研究用機器備品等、前年比で簿価が減少している科目については、建物と同様に新規取得額を減価償却額が上回ったことによるものです。(有形固定資産のうち土地、図書は減価償却対象外です)

「その他の固定資産」のうち減価償却引当特定資産が前年比435百万円増加しているのは、「資金収支計算書」の支出の部「資産運用支出」の既述のとおり14年度繰り入れ分が加算されたことによる。

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	22,149,075	12,240,130	9,908,945
退職給与引当金	22,149,075	12,240,130	9,908,945
流動負債	449,148,826	484,204,316	35,055,490
未払金	136,464,674	119,129,426	17,335,248
前受金	292,530,000	354,800,000	62,270,000
授業料前受金	123,280,000	153,175,000	29,895,000
入学金前受金	97,525,000	112,250,000	14,725,000
実験実習料前受金	24,950,000	31,050,000	6,100,000
施設費前受金	46,775,000	58,325,000	11,550,000
預り金	20,154,152	10,274,890	9,879,262
負債の部合計	471,297,901	496,444,446	25,146,545
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	15,175,265,230	15,056,789,481	118,475,749
第4号基本金	100,000,000	0	100,000,000
基本金の部合計	15,275,265,230	15,056,789,481	218,475,749
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	1,143,437,032	974,765,302	168,671,730
消費収支差額の部合計	1,143,437,032	974,765,302	168,671,730
負債の部・基本金の部および消費収支差額の部合計	16,890,000,163	16,527,999,229	362,000,934

### 負債の部

退職給与引当金は、14年度繰入額約10百万円だけ前年より増加しました。なお、繰入額の計算方法は前年同様で、年度末要支給額の100%をもとに私立大学退職金財団に対する掛金の累積額を減じた金額を計上しています。

未払金は、図書等の発注 納品が年度末近くなったことから前年比+17百万円となりました。また、前受金の残高が減少しているのは、15年度入学生数が14年に比べ少ない(394名 338名(編入除く))ご等に伴うものです。

### 基本金の部など

基本金については、「消費収支計算書」の「消費収入の部」既述のとおり14年度繰入額計218百万円だけ前年より増加しています。

(注)

- 減価償却額の累計額の合計額 865,054,241 円
- 徴収不能引当金の合計額 3,220,000 円
- 担保に供されている資産の種類及び額 該当なし
- 退職給与引当金の額の算定方法は、職員の期末要支給額32,676,000円の100%をもとにして私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
- 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 該当なし
- 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。  

リース資産の種類	リース総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	502,149,270 円	261,964,080 円
その他の機器備品	14,639,520	7,319,760